

令和3年度 学生支援プロジェクト事業 中間報告



国立大学法人香川大学学生総合防災無線局
「つなぐ」プロジェクト実行委員会

プロジェクト事業概要

本プロジェクト事業は、昨年度に引き続き、災害時の情報伝達や無線通信の重要性を大学や地域・社会に向け発信することを主たる目的とする。

災害時には有線通信が使用できなくなり、情報伝達が困難になる可能性がある。しかし、無線通信は生き残り情報を伝えることが可能。東日本大震災でも、多くの地域で有線通信が途絶えてしまった。そのような状況下でも、無線通信を用いてライフラインの寸断や救助要請等の重要な連絡通信を行ったことで、数々の命が救われた。

本事業は、以下の三項目を事業目標とします。

- 災害時に不可欠である無線の重要性を『**発信**』する。
- 災害時に不可欠である無線に関わる人員を『**育成**』する。
- 災害時に不可欠である無線を『**活用**』する。



実施事業

JR5YFW

無線局
運用

すべての局員が
アマチュア無線技士3級
の免許を取得
無線機の運用に
慣れ親しみ
積極的な人脈づくりに
励む。

CONNECT

学生危機管理連合

学内
連携

連合で協力し
防犯パトロール隊の
デジタル簡易無線
による
通信の支援活動
を行う。

SUPPORT

四国瀬戸内圏
災害通信連合

学外
連携

学外のアマチュア無
線家と連携して
災害時に備えて
無線の訓練を行って
いる。
HPを立ち上げ
宣伝もしている。

EMERGENCY
NETWORK

新規
プロジェクト

ドローン

アマチュア無線4級
以上の資格が必要で
無線従事者の資格を
取得する動機に
繋げることに期待して
いる。

DRONE

外部や地域との無線交信

令和3年10月24日、
国立大学法人香川大学 学生総合防災無線局 林町本局にて
アマチュア無線機を使い、地域の方々とロールコールを実施しました。

アマチュア無線機を使い、以下の事項が容易に実施されます。

- 有事の際に便乗し無線活動を行う。
- 合同で複数の無線活動が可能。
- 日頃から通信することに慣れる。



防犯パトロール隊との連携 ～ 平時～



▶ 通信範囲の確認

電波の届く範囲や天候による
デジタル簡易無線の通信範囲の確認

▶ 効率的な交信の実現

デジタル簡易無線機4台を用いることで
従来よりも効率的な交信を実現。

▶ 有事の際に役立てる

日頃から無線機を運用することで、
災害時などの有事の際に役立てることが可能に

R3年 10月29,30,31日

■ スムーズな警備

デジタル簡易無線機のアンテナを設置することで防犯パトロール隊のスムーズな警備が実現した。

■ 安定した無線

建物内や本部から遠いところにおいても安定して無線を聞き取れた。

■ 無線への慣れ

防犯パトロール隊と無線局が連携することで平時のパトロールで無線を運用しない人も運用することができ無線に抵抗がなくなった。



これまでの活動とビジョン

これまで	1年目	無線局の開局
	2年目	無線局運用開始 局員募集
	3年目	学生危機管理連合創設 →防犯パトロール隊の無線運用支援(以降継続して) 四国瀬戸内圏災害通信連合創設 非常通信訓練(以降毎年実施)
本年度	4年目	防犯パトロール隊との無線支援の強化 ドローンを活用した防災活動立案
これから	5年目以降	四国瀬戸内圏災害通信連合での 四国瀬戸内圏規模の広域連携 ドローンによる防災活動本格化

無線で人と人を 「つなぐ」

「つなぐ」プロジェクト
香川大学学生総合防災無線局

